【1枚目】

				_					_			_								
事	事業コ	— ř	33120005					部·課·係名	寿 コー	ード	1 09070100		政策体系	上の位	位置付け	コード2	331002	予算科目	コード3	008010101
事	事 務 事	業名	水族博物館観客	誘致事業				部名等	幸		(教育機関)	政	策の柞	主 基	1 にぎわい、活	力あるまちづく	Ŋ	会計 水族館博物	館事業特別会計	
子	予算書の	事 業 名	5. 観客誘致事業					課名等	至		水族博物館	政	策	名 3	交流と連携によ	るにぎわい創出		款 1. 水族館	費	
事	事業 期 間	開始年度	昭和56年	終了年度	当面継続	業務分類	5. ソフト事業	係名等	ş		管理係	施	策	名 1.	観光の振興			項 1. 水族館	費	
宝杉	を計画(H25~H	197)への記載	無	宝施:	計画(H26~H28)	における区分	実施計画書に記載しない	記入者氏	z,		倉元 朋就	区		分なし				1. 水族館		
					ーシング () 3		1	電話番号			0765-24-4100	<u> </u>			 服の活用と受け入	カ体制の救備		1. 78/38/46	148	
	7 亿	O 1. 18A	E B ZE B IVII	2. / 9 1. /	777 0 3	. 吳匹亚 丽然	亚 4. 11年日	电加雷	,		0700 24 4100	æ	* * * *	1 I I I I I	板の石舟と文け入	10  作明の元				
	事業概要 (どの									施計	画への記載予定事業内容				上段・計画:	下段・実績		計	画	
	内外の観光業者 余く。	きへのPR及び)	人館者に対するサ	ナーヒス同上に	よる人館者の増加	<b>加を図ることを</b>	目的としている。ただし、	<b>広告宣伝事務</b>	H2	26				単						
									H2	27				位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
									H2	28										
	<この事務事 ①入館者	業は、誰、何	「を対象にしてい	るのか。※人や	や物、自然資源な	:ど>					<ol> <li>入館者数</li> </ol>			人	135, 000	120, 000	150, 00	150, 000	150, 000	150, 000
	②観光業者									対					126, 562	140, 769				
対象	③市内外の宿	泊施設							$\Rightarrow$	象指	2									
250										標										
											3			=						
	<平成24年度	まにおける事業		→ <平成24年度	度の活動及び見直	1.内容>									32, 000	28, 140				
	1 ///2011 / 20	C(=401) D + /	KALL O .> II M.	平成24年度の	D活動内容 平成	25年度の内容及	びフレンドショップ制度				① 団体入館者数			人	28, 309	21, 943	30, 00	30, 000	30, 000	30, 000
壬		見直し有		平成24年度の	0見直し内容 24	年度末でフレン	·ドショップ制度の廃止			活動					14, 000	700				
段	<平成25年度	の主な活動内	容>						$\Rightarrow$	指	② 優待券利用者数			人	13, 785	348	50	500	500	500
	①外部イベン	トでのPR活動	1 ②パンフレッ	トの送付 ③1	イベントの実施	④お正月飾り:	つけとプレゼント実施			標 -										
					あ品の開発・販売		7,211217,700				3									
	<この事務事	業によって、	対象をどのよう	に変えるのか>	>						① 団体入館者数/入館者数			%	24. 00	23. 45	20. 0	20.00	20. 00	20. 00
	①観光業者が ②入館者が満		.、お客様が来館	する。						4-1	① 四体八郎有数/八郎有数			90	22. 37	15. 89	20.0	20.00	20.00	20.00
意	③にいかわ圏		館する。							从果	② 優待券利用者数/入館者	坳		%	10.00	0. 58	0. 3	0. 33	0. 33	0. 33
図										指標	© <b>Ø</b> (1997197111 € <b>Ø</b> /7021 €	<i>**</i>			10. 89	0. 25	0. 0	0.00	0.00	0.00
											3									
	At the or D. He.									A	四种类 20四级财产 40元		· H A 7 T	TC- /FI	LALA STATE					
その	<施策の目指 観光情報が効		れ、全国各地か	ら多くの人が訂	<b>抗れています</b> 。					灰:	果指標が現段階で取得できて	ていない	い場合、その	取得	万法を記人					
結田	7,50				,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,															
木 >	の事致事業則	目払のキーかり	ナレニわまつのま	改事業目書	の奴倍										実終	本		計	rhi	
			けとこれまでの事 こ伴い、観光業者		の誘致のために対	始まった。					費目			-	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
平成	成23年度末にに	こいかわ観光圏	圏宿泊施設利用者	省以外の優待券。	、平成24年度末1	こフレンドショ	ップ制度を廃止した。		ŀ	(	(1)国・県支出金		(千)	円)	0	0		0	0	0
										(石)	(2)地方債		(千)		0	0		0	0	0
• 10	m 17 = 1, 110 - 1 - 16		at to the transmission of		In the second second					M	(3)その他(使用料・手数料等	等)	(千)		581	1, 695	2, 96	1,000	1,000	1,000
							制緩和、社会情勢の変化な の発達により、入館者の種			訳(	(4)一般財源 予算(決算)額((1)~(4)	の会計	(千)		581	1, 695	2. 96	1,000	1,000	1,000
	<b>未館者ニーズの</b>			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	07122	,,			ŀ	(	(1) 需用費	V/ [] [] [	(千)		455	1, 226	2, 71	.,	700	700
♦∄	市民や議会など	ごからの要望・	<ul><li>意見(担当者の</li></ul>	O私見ではなく	、実際に寄せられ	れた意見・質問	などを記入)			± (	(2)委託料		(千)	円)	0	0	. (	0	0	0
議会	会:施設の有効	め利用と入館者	皆数の維持を図る	。 隣接の売	店:客を集めて「	ましい 市民:	特になし			出	(3) 工事請負費		(千)	円)	0	0		0	0	0
	2 . L. W	facility Seri		Im ID 1 and 1 and 1	to the server to the till to	and the same of the same	7 7 188			라 _	(4)負担金補助及び交付金		(千)		0	0	-	0 0	0	0
◆児	県内他市の実施 ○ 把握して				内容又は把握して できる水族館がな		<b>公人欄</b>			(	(5) その他 A. 予算(決算)額((1)~(	(5) (D) (A)	(千l 計) (千l		126 581	469 1, 695	2, 96		1,000	1,000
	● 把握して				wild with	- 0			}	①事	A. ア昇(伏昇)領((I)~( 務事業に携わる正規職員数	(J) V) 👸	(人		2	1, 095	۷, 90	3 2	1,000	1,000
<b>♦</b> †	市民と行政の協		•	選択した協働状	状況の内容又は理	由の記入欄				_	務事業の年間所要時間		(時	_	440	440	66	0 440	440	440
	○ 協働して	いる					成26年度から実施予定。 向上を図りたい。				人件費(②×人件費単価/千	-円)	(千)	,	1, 908	1, 936	2, 90		1, 936	1, 936
	● 協働可能:			歩태ッハーダー	- により人貼省に	ショッのケービス	NM上で凶ッだい。				事業に係る総費用 (A+B)		(千)		2, 489	3, 631	5, 86		2, 936	2, 936
	<ul><li>協働にな</li></ul>	じまない								(参	考) 人件費単価		(円@	時間)	4, 336	4, 399	4, 40	4, 400	4, 400	4, 400

# 【2枚目】

## 平成 25 年度 魚津市事務事業評価表 (平成 24 年度実績 兼 平成 25 年度以降に係る計画)

1	$\Box$	台	17/	14	朴:	$\sigma$	評	柵	١
ı	н	TL I	15	=	14	U)	HT-	1ШП	1

1. 基本事業と	の直結	- 吉度(事務事業の意図が基本事業の意図にどのくらい直	苦しているか、その	理由も記載)	★ 評価	Б結果の総括と今後	後の方向性				
● 直結度为	7	冬季間を除き、無休で開館している施設であり、今			(1)	評価結果の総括					
<ul><li>○ 直結度中</li></ul>		説 のみならず魚津市全体の情報発信源として活用して	いくことが望ましい	•		① 目的妥当性	○ 適切	<ul><li>■ 目的廃止又は再設定の余地</li></ul>	也あり		
○ 直結度/	\	91				② 有効性	○ 適切	● 成果向上の余地あり			
2. 市の関与の	妥当性	(民間や他の機関でも実施可能な事務事業か)				③ 効率性	○ 適切	● コスト削減の余地あり			
○ 法令など	ごにより	り市による実施が義務付けられている				<ul><li>④ 公平性</li></ul>	● 適切	○ 受益者負担の適正化の余地	<b>!</b> あり		
○ 法令など	ごによる こよる集	る義務付けはないが、、公共性が非常に高く、民間(市民 実施が妥当	・企業等)によるも	ナービスの実施が不可能(又は困難)なた	(2)	今後の事務事業の	方向性 まま(又は計画どおり)継	结宝饰	年度		
		ビス提供は可能だが、公共性が比較的高く、市による実				〇 %、6 % ·			十尺		
_		いるが、関与の必要性は低く、今後は市の関与を縮小(					タリス	) WIL			
		成しているので、市の関与を廃止が妥当	/LIL/ W X I			● 目的見直					
根拠法令等を記		WO CL PACK HAND LENGTH XI	事務の区分	自治事務		•	業のやり方改善				
3 目的見直1.0	の金地	(現状の【対象】と【意図】は適切か、また、見直す場	合その理由と内容を	ジ説明 できない理由も説明)	★改革・	改善室 (いつ ど)	のような改革・改善を、ど	ういう手段で行うか)		コスト	と成果の方向性
	崔	観光業者への訪問は廃止したので、今後は個人入館者や	外国人観光客をター	-ゲットにする必要がある。	7,90	ALL	継続的かつ計画的な観客				ストの方向性
あり	明	<i>୬</i> ୦ ବ .									
【有効性の	評価]	1				平成26年度					
• 147771 T		<b>■</b> 成果の向上が今後どの程度見込めるか説明、できない理	由も説明) ※成果指	f標の計画と実績との比較に基づき記入							削減
	7	ホームページの運用との連携で、成果の向上の余地があ	る。		実						
	説			D. W (**)	施予						
あり	明			成果実績 下位	定		継続的かつ計画的な観客	誘致計画の見直し		_b	III on the state little
					時期					从	果の方向性
5. 連携するこ	とで、	今より効果が高まる可能性のある他の事務事業の有無	どう効果が高まるか	対明、できない理由も説明)	77.						
		市内博物館や商工観光課、商工会議所、漁協などと情報	の受発信や合同イベ	ントの実施など、今以上に連携すること		中·長期的					
あり	説	で、効果が期待できる。				(~5年間)					向上
859	明										IH] I
【効率性の	評価】										
6. 事業費の削		地(手段を工夫することで、事業費を削減できないか談									
		パンフレットの見直しやオリジナル商品の製作・販売で で、事業費は削減される。	一時的に事業費は増	大するが、長期的には収入増を見込めるの							
あり	説	CC 7 x g to fill x C 10 0 0				7価(課長総括評価					
	明							いるが、水族館事業の根幹に関わ 印刷物の配布に力を入れて、頻繁			二次評価の要否
					X1-X21		)1-10( )( )( ) (	The state of the s	11-24/17	,	
7. 人件費の削		<mark>会地(今の業務時間を工夫して少なくできないか説明、</mark> 今後、より関連施設や協力者と密接に連携する必要があ									
		予後、より関連施設や協力有と密接に連携する必要があ	るので、削減の未応	slavatio							
なし	説明										
	93										不要
「ひせばる当	/m: ¶										1
【公平性の評		の余地(受益の機会が偏っていて不公平でないか)									
8. 気益機芸の		福利厚生組織との連携(優待券)を廃止したので、適正	化の全地はない		★二次評	7年 ( 20 半半时)	会議 ・ 部会 )				
		個的序工組織との足跡(後内外)と廃止したので、過止	1000 // 2010-0-0-0		▼ _ 1人前	r恤 (程名牧哈:	云酸				
なし	説明										
	93										
g 受然老負扣。	の適正	化の余地(県内他市と比較し、適正な水準か)									
0. 文皿有页担		受益機会の適正化の余地がないため。									
対象外	説明										
					L						

33120005

事業コード

部・課・係名等 コード 1

09070100

政策体系上の位置付け

コード2

【1枚目】

008010101

予算科目

事務事業名水族博物館広告宣伝事務	部 名 等			(教育機関)	政策の	柱基	1 にぎわい、活:	カあるまちづく	i)	会計 水族館博物館	館事業特別会計	
予算書の事業名 5. 観客誘致事業	課名等			水族博物館	政 策	名 3	交流と連携による	るにぎわい創出		款 1. 水族館	費	
事業期間         開始年度         昭和56年         終了年度         当面継続         業務分類         5. ソフト事業	係 名 等			管理係	施策	名 1.	観光の振興			項 1. 水族館	<b></b>	
<u>実施計画(H25~H27)への記載</u> 無実施計画(H26~H28)における区分実施計画書に記載しない	記入者氏名			倉元 朋就	区	分な				1. 水族館	管理費	
実 施 方 法 ○ 1. 指定管理者代行 ○ 2. アウトソーシング ○ 3. 負担金・補助金 ● 4. 市直営	電話番号			0765-24-4100	基 本 事 拳	名 情報	服の活用と受け入れ	h.体制の整備	-			
X 10	PE HI B 'V			0700 27 1100	<u> </u>	- 110	W47/11/11/C X1774	o h t. ib ) as TE NW				
事業概要(どのような事業か)		◆実	施計i	画への記載予定事業内容			上段・計画:	下段・実績		計画	<u> </u>	
A津水族館の魅力や活動をPRし、入館者の増加を図る事業。		H2	6			単						
		H2	7			位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		H2	В									
<この事務事業は、誰、何を対象にしているのか。※人や物、自然資源など>				① 入館者数		人	135, 000	120, 000	150, 000	150, 000	150, 000	150, 00
②県内外の観光客			<del>*</del>	<i>У</i> 7 да г 3 д		^	126, 562	140, 769	100, 000	100, 000	100, 000	100, 00
③保育園・幼稚園・学校の遠足担当者		_	象	② 団体入館者数		人	32, 000	28, 140	30, 000	30, 000	30, 000	30.00
			指標	S 11 11 / 12 1 30		^	28, 309	21, 943	00, 000	00, 000	00, 000	00,00
				3)								
				<u> </u>								
<平成24年度における事業見直しの有無> <平成24年度の活動及び見直し内容>				① テレビCM、新聞、雑誌の広告	与件数	件	35	36	36	36	36	3
①テレビ、新聞、雑誌等への広告掲載 ②JR魚津駅、地鉄富山駅、宇 見直し無 ③情報誌への情報提供 ④報道機関への情報提供	奈月駅の看板		汪	S / D C S ( 47 [24] ( TE pic 57 [24]		''	37	36			-	
FINAL STREET,			動	② 広報による新聞掲載 (確認を	4)	件	170	175	140	140	140	14
<sup>役</sup> <平成25年度の主な活動内容>			指標	S MATRICO ON MINISTER (REDUZ.		<u> </u>	120	138	140	140	140	
平成24年度と同じ				3)								
1 MET TIX C IN 0				<u> </u>								
<この事務事業によって、対象をどのように変えるのか>				① 入館者数の前年対比		%	93. 10	88. 89	106. 56	100, 00	100.00	100. 0
①市民の関心が魚津水族館に向き、市民の来館が増える。 ②水族館の魅力が伝わることで、県内外の入館者が増加する。			45	<b>○ 八品日外○</b> 門干月10			94. 18	111. 23	100.00	100.00	100.00	100.0
③ 遠足の利用が増え、入館者が増加する。		_	果	② 団体入館者の前年対比		%	96. 97	88. 89	136. 72	100.00	100, 00	100. 0
			指標	<b>罗四种八品名</b> 07前千万比			85. 44	77. 51	100. 72	100.00	100.00	100.0
			1	3)								
			ľ	<i>y</i>								
そ <施策の目指すすがた>			↑成爿	果指標が現段階で取得できてい	ない場合、そ	の取得	方法を記入					
<mark>り</mark> 観光情報が効果的に発信され、全国各地から多くの人が訪れています。 <del>吉</del>												
▶この事務事業開始のきっかけとこれまでの事務事業見直しの経緯				費目			実績	,		計画	-	
日和56年の水族博物館の開館に伴い、施設の紹介と普及、PRのために始まった。							23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
				1)国・県支出金		千円)	0	0	0	0	0	
			(石)	<ul><li>2)地方債</li><li>3)その他(使用料・手数料等)</li></ul>		f円) f円)	2, 519	2, 540	2, 500	2, 500	2, 500	2. 50
<ul><li>開始時期以後の事務事業を取り巻く環境の変化と、今後予想される環境変化(法改正、規制緩和、社会情勢の変化)</li></ul>	たど)		M	4) 一般財源		f円)	0	0	0	0	0	2,00
)開館以来31年が経過し、施設が老朽化 ②近隣の水族館・動物園・博物館のリニューアルや施設の増加 ③余暇の	過ごし方の多様化			予算(決算)額((1)~(4)の合		· 円)	2, 519	2, 540	2, 500	2, 500	2, 500	2, 50
D長期不況による観光客の減少 ⑤交通網の発達により、入館者の移動距離の拡大 ⑥少子化による遠足客数の減少	⑦広告予算の削	削減	(	1) 需用費	(=	千円)	0	0	0	0	0	
<ul><li>市民や議会などからの要望・意見(担当者の私見ではなく、実際に寄せられた意見・質問などを記入)</li></ul>			<b>≠</b> (	2)委託料		千円)	0	0	0	0	0	
銭会:PRを充分に行い入館者数の維持を図る。 隣接の売店:水族館がマスコミに載るイベントの実施と新施設の増 5民:特になし	築を行ってほしい	۰,۰	7 -	3) 工事請負費		千円)	0	0	0	0	0	
			라	4) 負担金補助及び交付金		千円)	0 510	0 540	0 500	0 500	0	0.50
<ul><li>▶県内他市の実施状況</li><li>◆把握している内容又は把握していない理由の記入欄</li><li>滑川市は、ホタルイカのキャラクターを公募し、ホタルイカミュージアム</li></ul>	への観光客の誘	致	(	5) その他 A. 予算(決算)額((1)~(5)の		千円) 千円)	2, 519 2, 519	2, 540 2, 540	2, 500 2, 500	2, 500 2, 500	2, 500 2, 500	2, 50 2, 50
① 把握していない を図っている。	> >>> 01	~	1)事	タイ・アダイ大学/領((I))で(3)の 多事業に携わる正規職員数		人)	2, 319	2, 540	2, 500	2, 500	2, 500	2, 50
<ul><li>市民と行政の協働状況</li><li>◆選択した協働状況の内容又は理由の記入欄</li></ul>		(				寺間)	440	440	660	440	440	44
○ 協働している 水族館サポーター制度を平成25年度に検討し、平成26年度から実施予定。		_		人件費(②×人件費単価/千円)		f円)	1, 908	1, 936	2, 904	1, 936	1, 936	1, 93
● 協働可能だが未実施  小族館サポーターにより入館者に対して魚津水族館の魅力や活動のPRを図	りたい。		事務	事業に係る総費用 (A+B)	(=	千円)	4, 427	4, 476	5, 404	4, 436	4, 436	4, 43
○協働になじまない			(参	考) 人件費単価	(円	@時間)	4, 336	4, 399	4, 400	4, 400	4, 400	4, 40

## 【2枚目】

## 平成 25 年度 魚津市事務事業評価表 (平成 24 年度実績 兼 平成 25 年度以降に係る計画)

1. 基本事業と	の直結度(事務事業の意図が基本事業の意図にどのくらい直結	昔しているか、その理由も記載)		★ 評品	T結果の総括と今後	の方向性		
● 直結度大		是供による新聞、テレビへの掲載は魚津水族館に関心が向	き、	(1)	評価結果の総括			
○ 直結度中	説 魚津市への観光客が増加する。				① 目的妥当性	■ 適切 ○ 目的廃止又は再設定の余	地あり	
○ 直結度小	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \				② 有効性	○ 適切		
2. 市の関与の妥	妥当性(民間や他の機関でも実施可能な事務事業か)				③ 効率性	○ 適切 ● コスト削減の余地あり		
<ul><li>法令など</li></ul>	により市による実施が義務付けられている				<ul><li>④ 公平性</li></ul>	○ 適切 ● 受益者負担の適正化の余	地あり	
<ul><li>法令など</li></ul>	による義務付けけないが 公共性が非常に高く 民間(市民	<ul><li>・企業等)によるサービスの実施が不可能(▽は困難);</li></ul>	- t-	(2)	今後の事務事業の	方向性	<u></u>	
○ め、市に	でよる義務付けはないが、、公共性が非常に高く、民間(市民 よる実施が妥当	Ext () (100 g) - 100 (Xian   110 (Xian   Xian   Xia	.,_		○ 現状のま	ま(又は計画どおり)継続実施	年度	
● 民間でも	,サービス提供は可能だが、公共性が比較的高く、市による実施	直が妥当			<ul><li>終了</li></ul>	で 廃止 ○ 休止		
○ 市が実施	iしているが、関与の必要性は低く、今後は市の関与を縮小(廃	<b>を止)が妥当</b>			● 他の事務	事業と統合又は連携		
○ 既に目的	]を達成しているので、市の関与を廃止が妥当				○ 目的見直	ΙL		
					● 事務事業	のやり方改善		
根拠法令等を記		事務の区分自治事務			<del>-</del>			
3. 目的見直しの	の余地(現状の【対象】と【意図】は適切か、また、見直す場	合その理由と内容を説明、できない理由も説明)		★改革・	改善案(いつ、どの	りような改革・改善を、どういう手段で行うか)		コストと成果の方向性
ı	現状の対象と意図は適切であり、見直しの余地なし。					イベント等にあわせてマスコミへの情報発信を頻繁に行し、ト等への掲載やテレビ番組への協力など新たな広告	うとともに、無料掲載雑誌・パンフ	コストの方向性
なし	説					レット寺への拘戦やテレに番組への励力なと利にないこ	<b>直旦伝心期を元夫させる。</b>	コストの方向圧
なし	明							
					平成26年度			
【有効性の評	评価】				平成20年及			削減
4. 成果向上の余	余地(成果の向上が今後どの程度見込めるか説明、できない理	由も説明)※成果指標の計画と実績との比較に基づき記						門羽火
	アンケート調査などにより顧客ニーズや観光客の動向など	どを把握し、広告宣伝につなげ		実				
	ることにより、成果の向上が見込まれる。	0.00	.	施予				
あり	明	成果実績中位	Ĭ.	予定		他の観光関連施設(博物館等含む)と連携をとりながら		
				時期		魚津市のみならず、新川地区や富山県全体の状況を視野	『に入れた共同広告活動の実施。	成果の方向性
5. 連携すること	とで、今より効果が高まる可能性のある他の事務事業の有無(	どう効果が高まるか説明、できない理由も説明)		<del>&gt;9</del> 1				
	ホームページ運用事務と連携することでより効果が高まる				中·長期的			
	説				(~5年間)			
あり	明							向上
【効率性の評	平価】							
■ / / · · · · · · · · · · · · · · · · ·	戦の余地(手段を工夫することで、事業費を削減できないか説明	明、できない理由も説明)					I	
	広告媒体の有効性や費用対効果を検証することで、事業費							
	<b>9</b> 5			★一次診	平価 (課長総括評価	)		
あり	説   明					よび他の施設との連携のために必要なものを維持してい	る状態である。100周年にあたり、県P	外の多く
				のメディ	′アに取り上げてい	ただいた効果は大きく、広告宣伝の重要性が大きい事を	再認識させられた。今後、大きなリニ	ューアル 二次評価の要否
7. 人件費の削	  減の余地(今の業務時間を工夫して少なくできないか説明、で	できたい理由も説明)		や増設が	v呈めない状況では	、広告宣伝事業の大幅な拡大が必要と考えられる。		
八百页少的	情報発信の回数が事業の効果を高めるので、削減の余地に							
	54							
なし	説   明							不要
								1.3
【公平性の評	<b>活</b>							
	『Ⅲ』 窗正化の余地(受益の機会が偏っていて不公平でないか)							
O. 文血(双云 V)旭	各広告媒体の有効性や費用対効果を検証することで、適可	正化の余地がある。		★二次部	平価 ( 経党能収4	会議・ 部会 )		
				A — IVII	1 1984 ( 作生 白 中央町 2	NEW MET IN		
あり	説   明							
0	D適正化の余地(県内他市と比較し、適正な水準か)							
J. 又無有貝担V.	広報の方法を検討することで、より受益者負担の水準を	下げる余地がある。						
		, 😅 ,						
低い	説明							

部・課・係名等 コード 1

03010200

政策体系上の位置付け

コード2

331002

予算科目

事業コード

33112001

【1枚目】

001070104

	事務事業名観光	務 事 業 名 観光地維持管理事業							産業建設部		政策の	柱基	ま1 にぎわい、活	5力あるまちづく	Ŋ	会計 一般会計		
	予算書の事業名 2.5	受入体制 割	<b>E備事業</b>				課名等		商工観光課		政 策	名 3	3 交流と連携によ	よるにぎわい創出		款 7. 商工費		
	事業期間 開始年度 平	7成元年以	l前 終了年度	当面継続	業務分類	5. ソフト事業	係名等		観光係		施 策	名 1	. 観光の振興			項 1. 商工費		
-	施計画(H25~H27)への記載	有(重		計画(H26~H28)		重点・継続・変更無	記入者氏名		高森 哲也		<u>14.</u>	分な				目 4. 観光費		
																口 一、 既乃县		
	実施方法 ① 1. 指定管理	埋有代仃	○ 2. アウトソ·	-529 () 3.	貝担金・佣助:	金 ● 4. 市直営	電話番号		0765-23-1025		基 本 事 莱	名情	情報の活用と受け <i>】</i>	(れ体制の整備				
<b>♦</b> ]	事業概要 (どのような事業か)						•	◆実施	計画への記載予定事業内容				上段・計画	: 下段・実績		計	画	
近	隣の自治体と連携して、国外や	県外へ観:	光客の誘客に向けた	≿効果的な P R を	行うとともに、	その圏域内の受け入れ態勢	势の整備を図	H26	観光安寧所運営支援事業			単						
1	。 北陸国際観光テーマ地区協議会	負担金(	②立山黒部自然環境	竟保全・国際観光の	促進協議会負担	金 ③富山湾・黒部峡谷・	・越中にいか	H27	観光案内所運営支援事業			位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
わ	観光圏協議会運営負担金及び事	業負担金	④新川地域観光閉	開発協議会負担金			-	H28	観光案内所運営支援事業									
	<この事務事業は、誰、何を対	対象にして	こいるのか。※人や	物、自然資源など	<u>:</u> >				O V				1, 464, 468	1, 408, 780				
	◆この事務事業開始のきっかけ	ナとこれま	での事務事業見直	[しの経緯					① 前年観光客入込み数			人	1, 464, 488	1, 408, 780	1, 880, 000	1, 970, 000	2, 062, 000	2, 158, 000
☆	+							対象				·	150	150				
対象	4							指	② 海の駅「蜃気楼」駐車で	可能台	<b>分数</b>	台	150	150	150	150	150	150
								標				·}	33	33		<u> </u>		
									③ レンタサイクル台数			台	33	33	38	38	38	38
	<平成24年度における事業見	直しの有	無> <平成24年度	の活動及び見直し	レ内容>				_				203, 100	203, 100				
				公倉城跡の公衆便所	fの維持管理、!	駐車場の占用料の支払いな	ど。観光振興		① 天神山·松倉城跡清掃	委託米	4	円	203, 100	203, 100	203, 100	203, 100	203, 100	203, 100
壬	見直し無		計画の策定					活動				·}	0	1, 090, 200		·		
段	《平成25年度の主な活動内容》	>						指	② しんきろうロード交通	整理・	・清掃委託料	円	0	1, 090, 200	1, 090, 200	1, 090, 200	1, 090, 200	1, 090, 200
								標				<del> </del>	659, 000	300, 000				
	天神山及び松倉城跡の公衆便所	听の維持管	・理、駐車場の占用	料の支払いなど。	観光振興計画(	の策定			③ 観光関係修繕総額			円	659, 000	273, 275	300, 000	300, 000	300, 000	300, 000
	<この事務事業によって、対象	象をどのよ	こうに変えるのか>						_				1, 408, 780	1, 504, 638				
	たくさんの人が県内外、国外が	から魚津市	に来る。観光地を	きちんと維持管理	里することによ	り、本市へ訪れる方々に対	しおもてなし		① 当年観光客入込み数			人	1, 408, 780	1, 504, 638	1, 970, 000	2, 062, 000	2, 158, 000	2, 259, 000
音	の意識を高め、併せてリピータ	ターも増く	す。					成里				<del> </del>	291, 064	302, 536				
図	ì						•	指	② 海の駅「蜃気楼」の入	り込み	外客数	人	291, 064	302, 536	310, 000	320, 000	320, 000	320, 000
								標				<del> </del>	454	498				
									③ レンタサイクル利用台	数		台	454	498	470	480	480	480
そ	- <施策の目指すすがた>							1	成果指標が現段階で取得でき	てい	ない場合、その	の取得	身方法を記入		<u>I</u>			
の ct	恵まれた自然や優れた歴史文化	ヒ資源が伊	<b>全され、十分に活</b>	用できます。														
相 果																		
<b>*</b> :	この事務事業開始のきっかけと	これまで	の事務事業見直しの	の経緯									実	績		計	画	
観	光客におもてなしの心を表現す	るととも	こ、リピーターを増	曽加させるために	観光地や観光資	源の維持管理を行う。			費目				23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
住兄 2	光振興の高まりの要望を受け、	既兀恢興:	★ 炒」 * 観 兀 振 興 計 □	当い東疋を打り。					(1)国・県支出金			F円)	755	746	550		550	550
								財源	(2)地方債			F円)	0	358	400	400	400	400
	明林州以後の古苑古典とでい	* / vm (**	の亦作し、人がマナ	日本上 才開放症"	(34.76.T 10.44)	經五 九人序卷 a 左 // 1	12\		(3)その他(使用料・手数料	等)		F円)	27	187	260	260	260	260
	開始時期以後の事務事業を取り 光客のニーズの多様化や情報ツ							訴	(4)一般財源 予算(決算)額((1)~(4)	m A		F円) F円)	3, 917 4, 699	4, 453 5, 744	9, 533 10, 743	9, 533 10, 743	9, 533 10, 743	9, 533 10, 743
なり	ければならない。	/2 47元	こっていたしておりて	5、株元が、久旧し	· · · · · · · · · · · · · · · · · ·	20 m2 CO CO C 1 1 C 10 C 10 C	J 73 PG C C C V. N	·	(1) 需用費	, 07 11		F円)	934	3, 744 429	364	,	364	364
<b>♦</b> ī	市民や議会などからの要望・意	見(担当	者の私見ではなく、	実際に寄せられる	た意見・質問な	どを記入)		_	(2)委託料			F円)	968	1, 551	1, 750	1, 750	1, 750	1, 750
	光振興がもたらす効果は幅広く							2	(3) 工事請負費			f円)	2, 457	1, 767	1,000	1,000	1, 000	1, 000
L								内	(4)負担金補助及び交付金		(1	F円)	0	1, 670	7, 300	7, 300	7, 300	7, 300
٠ļ	県内他市の実施状況			容又は把握してい				前	(5)その他			F円)	340	327	329	329	329	329
	○ 把握している	<b></b>	他市には確認して	いないが、観光地	也維持管理は全	市で行っていると思われる	0 0		A. 予算(決算)額((1)~			F円)	4, 699	5, 744	10, 743	10, 743	10, 743	10, 743
	● 把握していない		▲ 1884日 1 - 2 - 124 85 - 115	M o Horacian I	5 m \$1 1 488				事務事業に携わる正規職員数			人)	2	2	2	2	2	2
<b>▼</b> 1	市民と行政の協働状況			、況の内容又は理由 なはじめ観光客の		携して活動している。		_	事務事業の年間所要時間 . 人件費(②×人件費単価/=	<del>Г</del> Ш)	,	寺間) F円)	1, 734	400 1, 760	1, 760	1, 760	1, 760	1, 760
	<ul><li>働 協働している</li><li>○ 協働可能だが未実施</li></ul>	$\rightarrow$	RLJUN ノン / イ /	と160の形儿合り	/可以門工に建!	ps し C/ロ対し C いる。		-	<ul><li>・ 人件質(②×人件資単価/一 務事業に係る総費用(A+B)</li></ul>	1 [3]		F円)	6, 433	7, 504	12, 503	1, 700	12, 503	12, 503
	○ 協働になじまない								参考) 人件費単価			(四月)	4, 336	4, 399	4, 400	4, 400	4, 400	4, 400
_	0	1	1					`					, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	/	,	,	,	,

#### 【目的妥当性の評価】

1. 基本事業との直	[結度(事務事業の意図が基本事業の意図にどのくらい直絡	古しているか、その理由も言	記載)	★ 評価	m結果の総括と今後の	り方向性		
● 直結度大	観光資源が保全され、十分に活用できます。				評価結果の総括			
<ul><li>○ 直結度中</li></ul>	説			(1)	① 目的妥当性	● 適切 ○ 目的廃止又は再設定の	소배 ħ N	
○直結度小	明				② 有効性	● 適切 ○ 成果向上の余地あり	示地のグ	
<u> </u>	地 (日間なから終明できた大学を大士を古典 L)							
	性(民間や他の機関でも実施可能な事務事業か)				③ 効率性	<ul><li>適切 ○ コスト削減の余地あり</li></ul>	No.	
	いったによる実施が義務付けられている				<ul><li>④ 公平性</li></ul>	● 適切 ○ 受益者負担の適正化の会	<b>永地あり</b>	
<ul><li>○ 法令などによ め、市による</li></ul>	こる義務付けはないが、、公共性が非常に高く、民間(市民 5実施が妥当	・企業等)によるサービス	スの実施が不可能 (又は困難) なた	(2)	今後の事務事業の力 ● 現状のま	F向性 ま(又は計画どおり)継続実施	年度	
● 民間でもサー	- ビス提供は可能だが、公共性が比較的高く、市による実施	布が妥当				○ 廃止 ○ 休止		
•	こいるが、関与の必要性は低く、今後は市の関与を縮小(原					事業と統合又は連携		
~	を成しているので、市の関与を廃止が妥当				〇 目的見直			
根拠法令等を記入	The contract of the contract o	事務の区分	自治事務		○ 事務事業			
3. 目的見直しの余	地 (現状の【対象】と【意図】は適切か、また、見直す場	合その理由と内容を説明。	できない理由も説明)	★改革・	改善室(いつ、どの	ような改革・改善を、どういう手段で行うか)		コストと成果の方向性
o. 140/2E 00/30	現状の対象と意図は適切であり、見直しの余地はなし。	E COMMETTE CONT	CC OR ( PERM O DOS)	7 92		観光の受け入れの充実を図るため、施設(ハード)、	観光案内(人材)の充実に努める。特	7.1 6/00/6-7/7/1911
なし説明						に人材の育成については、観光振興計画に沿って進め		コストの方向性
31								
【有効性の評価	f ]				平成26年度			*** ***
	- (成果の向上が今後どの程度見込めるか説明、できない理	由も説明) ※成果指標の計	画と実績との比較に基づき記入					維持
	成果向上の余地なし			実				
<b>香</b> 英				施予				
なし説明			成果実績中位	定		観光施設や案内看板を維持管理したり、修繕すること	により より観光施設が活用しやすく	
9,				時		できるようにする。		成果の方向性
ローン事機・ナファル・ボ	↑ ト b	以こ為田北京ナブム影明	マキシン理中(祭四)	期		しんきろうロード駐車帯チェーン及びポールを全て修		
3. 理携することで、	、今より効果が高まる可能性のある他の事務事業の有無 ( 連携することで、今より効果が高まる可能性がある他の		(さない理由も説明)			また各観光施設や看板などに必要に応じた修繕を実施	9 <b>0</b> .	
なし説明	選携 9 ること じ、 ラより 別来か 高まる 可能性か める他 U・	∌務争来はない。			中・長期的 (~5年間)	観光客に対し、おもてなしの心で皆が接することがで	きるよう努めていく。	維持
【効率性の評価	<u> </u>							
	□』 余地(手段を工夫することで、事業費を削減できないか説	明 できかい押山も前田)						
0. 事未真の削減の	できる限り最低限の費用で維持管理しており、また修繕		よな」」が最低限の費用で <b>確保</b> する必					
	要がありため。	長川 ログ・フ20女 なっかいりかっ	うないが、政局成の資用で確保する必	_A V6- ≅3	平価 (課長総括評価)			
なし説明						こめの必要最小限の事業であり、継続する必要がある。		
91				5代1人(リ世)	兄兀貝原で無行り つ/	このの必要取小阪の事業であり、極続する必要がある。		二次評価の要
- 1 (1 -14 - 14 )								
7. 人件費の削減の	会地(今の業務時間を工夫して少なくできないか説明、で	ごさない理由も説明)						
	現状から、業務時間を少なくする余地はない。							
なし説								
明								不要
【公平性の評価】								
8. 受益機会の適正位	化の余地 (受益の機会が偏っていて不公平でないか)							
	特定受益者なし。			★二次評	平価 ( 経営戦略会	議 ・ 部会 )		
なし 明								
9. 受益者負担の適	 正化の余地(県内他市と比較し、適正な水準か)							
	今後も受益者負担はなし。							
平均明								
	<u> </u>			L				

部・課・係名等 コード 1

03010200

政策体系上の位置付け

コード2

331002

予算科目

事業コード

33120003

【1枚目】

001070104

事務事業名が観光・物産宣伝事業	部 名 等		産業建設部	政策の	柱 基	1 にぎわい、活	力あるまちづく	IJ	会計一般会計		
予算書の事業名 3. 観光物産・宣伝事業	課名等		商工観光課	政 策	名 3	交流と連携によ	るにぎわい創出		款 7. 商工費		
事業期間 開始年度 昭和40年代 終了年度 当面継続 業務分類 5. ソフト事業	係 名 等		観光係	施策	名 1.	・観光の振興			項 1. 商工費		
実施計画(H25~H27)への記載 無 実施計画(H26~H28)における区分 実施計画書に記載しない	記入者氏名		高森 哲也	区	分な	L			目 4. 観光費		
<b>実施方法</b> ○ 1. 指定管理者代行 ○ 2. アウトソーシング ○ 3. 負担金・補助金 ● 4. 市直営	電話番号		0765-23-1025			 報の活用と受け入:	カは制の数牒				
<b>7. 月月1 (1. </b>	电阳田力		0700 20 1020	a 7 7 x	: 14 IFF	報の沿州と支げ入	10件的の定備				
◆事業概要 (どのような事業か)		◆実施	計画への記載予定事業内容			上段・計画:	下段・実績		計画	Ī ,	
魚津市のみどころ(観光資源やイベントなど)や特産物等をPRすることにより、県内外からの観光客を誘致し、市全体 指す。加えて市内の観光施設、観光関係諸団体の活動支援を行う。	の活性化を目	H26			単						
A COMPANY AND DISCOUNT AND DISC		H27			位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		H28									
<この事務事業は、誰、何を対象にしているのか。※人や物、自然資源など>			① 近畿、中部、関東の人口組		千人	86, 511	86, 511	87, 077	87, 077	87, 077	87, 07
全国民(首都圏、関西圏、中京圏の住民が主なターゲット) 観光関係団体		対	৺ 統計局ホームページの資料	4)		87, 077	87, 077		,		
<b>対</b>		象	② 総人口(総務省 統計局オ	マームページの	千人	127, 510	127, 510	128, 057	128, 057	128, 057	128, 05
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		持標	৺ 資料)		_	128, 057	128, 057				
			3								
(cont. No. despite (col. ) ) as shown in a section of the contraction of the color						255 200	255 222				
< 平成24年度における事業見直しの有無> < 平成24年度の活動及び見直し内容> パンフレット作成、TVや新聞、雑誌等への広告、観光協会・観光ボラ	シティア支援		① 広告費(新聞・テレビ等)		円	955, 000	955, 000	1, 000, 000	1, 000, 000	1, 000, 000	100, 000
見直し無 等。また首都圏や中京圏など大都市圏で物販販売を実施し、同時に観光	パンフレット	活	ļ			946, 650	976, 600				
ませた。(北陸自動車道のSA、有楽町での「魚津うまい」。(北陸自動車道のSA、有楽町での「魚津うまい」。	\もんフェア I	動指	② 県外出向宣伝		回	16	16	10	10	10	10
	- 都市圏で物版	標				9	10				
販売を実施し、同時に観光パンフレットなどの配布を行った。(北陸自動車道のSA、有楽町での「魚津うまいもん			3								
楽町」、世田谷祭り、飛驒味祭り(秋)等)市制施行60周年を記念し、写真コンテスト、ゆるきゃら作成事業を実施。 <この事務事業によって、対象をどのように変えるのか>						1, 650, 000	1, 880, 000				
魚津の良さをPRすることにより、観光客入り込み数の増加を図り、地域の活性化を目指す。特に県内外からの観光客	誘致をするた		<ul><li>当年観光客入込み数(実制 数調査 総括より)</li></ul>	は観光客入込	人	1, 408, 780	1, 504, 638	1, 970, 000	2, 062, 000	2, 062, 000	2, 062, 000
めに特産品の販売実施は効果的であり、魚津の特産品(海産物、農産物、工芸品)を直接消費者の方々に見て、買っ 意 もらうことにより、その品質の高さを認めてもらい、魚津の魅力アップにつなげる。		成		23 WL EM A/2		230, 000	235, 000				
図		指	② 宿泊客数(実績は観光客 <i>)</i> 括より)	人 公 数 訓 食 総	人	231, 668	308, 357	240, 000	245, 000	24, 500	245, 000
		標					,				
			3								
そ  <施策の目指すすがた>		1	成果指標が現段階で取得できてい	ハない場合、そ	の取得	方法を記入					
の 魚津の魅力の向上を図ることにより、県内外からの観光客誘致の促進が図れる。											
<del>植</del> 果											
◆この事務事業開始のきっかけとこれまでの事務事業見直しの経緯	<u> </u>		# 0			実綱	Ħ		計画	i	
昭和40年頃からポスター、パンフレットの作成やホタルイカなどの水産加工品を県外で出張販売等を始め、魚津のPRに努協会や観光ボランティア団体の支援も含め、魚津を訪れる人々に好感を持っていただけるよう努めてきた。	<b>努めた。また観光</b>	ť	費目			23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
勝太や戦ルがブンティテ国体の文族で言め、黒岸を訪れる人々に対応を持っていただけるよう分のできた。		H-4	(1)国・県支出金		千円)	0	0	0	0	0	(
		源	(2)地方債		千円)	0	0	0	0	0	(
<ul><li>◆開始時期以後の事務事業を取り巻く環境の変化と、今後予想される環境変化(法改正、規制緩和、社会情勢の変化など</li></ul>	<b>ジ</b> )	内	(3) その他(使用料・手数料等) (4) 一般財源		千円)	11, 256	4, 891	5, 000	5, 000	5, 000	5, 000
個人旅行がメインとなりつつあり、観光宣伝の方法もそのニーズに対応していくことが重要になってくる。物産宣伝につ	ついては意欲的な	J.	予算(決算)額((1)~(4)の		千円)	11, 256	4, 891	5, 000	5, 000	5, 000	5, 000
事業者は通販やウェブサイトでの販売に力を注いでいるが、現物を消費者の方々が自身で試食してみて、直接購入してもである。今後ともロコミになるような地道な観光宣伝や直接販売を実施していくと共に、ITを利用した情報発信も重要	もらうことも重要	ē	(1)需用費		千円)	2, 729	2, 317	2, 400	2, 400	2, 400	2, 400
◆市民や議会などからの要望・意見(担当者の私見ではなく、実際に寄せられた意見・質問などを記入)	- C 07 10 11	支	(2)委託料	(	千円)	1, 014	210	250	250	250	250
食のブランド化推進やB級グルメの開発等について推進の声があり、議会でも取り上げられた。		出	(3)工事請負費		千円)	0	0	0	0	0	(
▲旧市原本の中佐井辺		内訳	(4)負担金補助及び交付金(5)その他		千円)	2, 870 4, 643	840 1, 524	850 1, 500	850 1, 500	850 1, 500	1, 500
◆県内他市の実施状況			(5) その他 A. 予算(決算)額((1)~(5)		千円) 千円)	11, 256	1, 524 4, 891	5, 000	5, 000	5, 000	5, 000
○ 把握していない		(1)	事務事業に携わる正規職員数		(人)	4	4	4	4	4	3,000
◆市民と行政の協働状況 ◆選択した協働状況の内容又は理由の記入欄			事務事業の年間所要時間		時間)	1, 280	1, 280	1, 280	1, 280	1, 280	1, 280
● 協働している 観光客誘致、特産品のPR等の行動を住民、関係団体と協力して実施している	٥.	В	. 人件費(②×人件費単価/千円	) (	千円)	5, 550	5, 631	5, 632	5, 632	5, 632	5, 632
○ 協働可能だが未実施			務事業に係る総費用 (A+B)		千円)	16, 806	10, 522	10, 632	10, 632	10, 632	10, 632
○ 協働になじまない		(	参考) 人件費単価	(F	月@時間)	4, 336	4, 399	4, 400	4, 400	4, 400	4, 400

#### 【目的妥当性の評価】

● (国際 大学 ) 「	1. 基本事業	との直	結度 (事務事業の意図が基本事業の意図にどのくらい直結				★ 評価	Б結果の総括と今後	の方向性			
□ はおかけ   日本の日本の主ない。	● 直結度	大	観光情報が効果的に発信され、全国各地から多くの人	しが訪れることに直	結してくる。		(1)	評価結果の総括				
2. からかとかとしておいましているかった。	<ul><li>直結度</li></ul>	中	明					① 目的妥当性	● 適切	○ 目的廃止又は再設定の分	余地あり	
② からかだとと、おおはいからい。	<ul><li>直結度</li></ul>	小						② 有効性	○ 適切	● 成果向上の余地あり		
□ かられている場所が行わないが、公共性が場所に対く、対象性が関係である。								③ 効率性	● 適切	○ コスト削減の余地あり		
● (関係でサービス機能の可能があ、の金融と対象の言と、	0								<b>○</b>	○ 受益者負担の適正化の余	⇒地あり	
● (関係でサービス機能の可能があ、の金融と対象の言と、	○法令な	どによ	る義務付けはないが、、公共性が非常に高く、民間(市民	<ul><li>・企業等)による†</li></ul>	ナービスの実施が不可能(又は	困難)なた	(2)	今後の事務事業の	方向性			
② 助われ来記しているが、関わりた単独はなど、今後の10分類を持つに関わる。											年度	
● 表現の音を主人   1 日本   1	_									休止		
● 本作本語が中の必要  - ***********************************	_			経止)が妥当				~				
	○ 既に目	的を達	成しているので、市の関与を廃止が妥当		T			_				
□ (日本)	根拠法令等を	記入		事務の区分	自治事務			● 争榜事業	そのやり万以書			
□ (日本)	o = = # = = = 1	- 6 11		A vi - viii l. ) - Leita )	AN OFF THE SECTION AND A SECTI		1 7/ +tr	at denta (	- 1 2 L of the of the h 12	22		- 1 1 Nm - 1-60
本	3. 目的見直し	ンの余地		台その埋田と内容を	: 説明、できない埋田も説明)		★改革・	改善案(いつ、と⊄			事性したがこ 効果の不効率のた知少	コストと成果の方向性
			現代の対象と思図は週別であり、兄直しの赤地はなし。									コストの方向性
有効性の評価	なし	説								一層のPR活動に努め、観光	客の本市へ訪れたいという機運を高め	
任政学性の影性 (		97							<u>ි</u>			
技術等的上の分配   保養的上が今後とで発度を必めるが認例。できない現在も気別) 金成業有権の分面と実施との状態に基づきな人   本の	<b>7</b> → → L Lub. or	, =π /π·	1					平成26年度				
おり   前   市内業者の経種的な参高により改良できる条地あり   成業来積   中位   成業来積   中位   京業   東京   東京	· 147//-	11.1	-	L 3 - 24 PD 1 V - 4 BD 14	(無の引売) 皮佐しの以及は甘	2 + do 1						維持
表現	4. 成果미上0			毌も説明)※放朱指	<b>目標の計画と美績との比較に基</b>	つざ記人	実					
			内米省の積極的な参画により以及できる未地の9									
1	あり	説			成果実績	中位			士 5 知 2 协 4 本 工 4 詳	武 曲边 海边签珍女搬场后	末様し たどこ - 英田ので発売のた知り	
大学性の評価		197							中で観光協会、商工会議物産宣伝を目指す。それ	//T、展開、温開寺が有機的に3 と並行にインターネットやホ-	連携しなから、効果的で効率的な観光 ームページ等ITを活用した情報発信	成果の方向性
でし 2	= \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	. 1		1) 2 4 田 2) 古 4 7 2	. 54 no		期			一層のPR活動に努め、観光	客の本市へ訪れたいという機運を高め	
( )	5. 連携するこ				*説明、できない理田も説明)				ి .			
数学性の評価			連携することで、学より効果が高まる可能性のある他の#	事務事業はない。								
【効率性心 評価】  6. 事業費の解験の余地(手段を工失することで、事業費を解検できないが説明、できない理由も説明)  なし 製	なし	説						(~5年间)				向上
6. 事業費の削減の余地 (手段を工失することで、事業費を削減できない外限明、できない理由も説明)  なし 説 無声視光協会や民間等の積極的な参画により、事業費の削減は期待できるが、観光協会の組織体制や民間地場の景気 を指わると現在のところ削減は難しい。  7. 人件費の削減の余地 (今の業務時間を工夫して少なくできない外取明、できない理由も説明)  なし 説 別		191										
6. 事業費の削減の余地 (手段を工失することで、事業費を削減できない外限明、できない理由も説明)  なし 説 無声視光協会や民間等の積極的な参画により、事業費の削減は期待できるが、観光協会の組織体制や民間地場の景気 を指わると現在のところ削減は難しい。  7. 人件費の削減の余地 (今の業務時間を工夫して少なくできない外取明、できない理由も説明)  なし 説 別	T del de lub en	3T: /T										
なし 別			_	The same of the same of the	SV REV							
を備みると現在のところ削減は難しい。    本一次評価 (議長総括評価)   地域活性化のための観光には必要不可欠な事業と考える。   一次評価 (議長総括評価)   地域活性化のための観光には必要不可欠な事業と考える。   一次評価の   大小評価 (議長総括評価)   大小評価 (議長組工)   大小評価 (議長総括評価)   大小評価 (議長組工)   大小評価 (議長組工)   大小評価 (議長組工)   大小評価 (議長組工)   大い評価 (議長組工)   大小評価 (議長組工)   大小評価 (議長組工)   大小評価 (議長組工)   大記 (表記 代表組工)   大記 (表記 代表組工)	り. 事業質の目	リ政の分				明小担の見与						
でし、野野				ク門派は別付 じさる	)が、観光励去の組織体制で氏!	<b>町地場の京</b> 式	4 VL =		``			
7. 人件費の削減の余地(今の業務時間を工夫して少なくできないか設明、できない理由も説明)  なし	なし	説	<u></u>							. 7		
なし 説 観光物産宣伝は関連業者との綿密な打合せが必要であり、観光物産PRを向上させ交流人口の拡大を目指すためには、これ以上の削減は厳しいと考える。  【公平性の評価】  8. 受益機会の適正化の余地(受益の機会が偏っていて不公平でないか)  なし 別 物産宣伝では特産物を扱う業者が特定受益者と考えられるが、物産宣伝するときに、販売品を安価に提供したり、自費で参加してもらったりすることで、特定受益者がある程度の負担を実施していると考える。  9. 受益者負担の適正化の余地(県内他市と比較し、適正な水準か)  平均的な水準と考えている。  取り		97					地域活動	E15のための観元に	は必要个可欠な事業と考え	LO.		二次評価の要
なし 説 観光物産宣伝は関連業者との綿密な打合せが必要であり、観光物産PRを向上させ交流人口の拡大を目指すためには、これ以上の削減は厳しいと考える。  【公平性の評価】  8. 受益機会の適正化の余地(受益の機会が偏っていて不公平でないか)  なし 別 物産宣伝では特産物を扱う業者が特定受益者と考えられるが、物産宣伝するときに、販売品を安価に提供したり、自費で参加してもらったりすることで、特定受益者がある程度の負担を実施していると考える。  9. 受益者負担の適正化の余地(県内他市と比較し、適正な水準か)  平均的な水準と考えている。  取り	7 1 / 小井の	es ducture	人地 /人の墨琴中用をアキにつかもノーともに)※四 ー	2-1-1-1 vm 1-3-54 nm								
なし 説 明	7. 人件質の	削減の				ナナルにけ						
【公平性の評価】  8. 受益機会の適正化の余地(受益の機会が偏っていて不公平でないか)  なし 別  ***********************************				観工物性PRを中	上させ交流人口の拡入を目指す	9 /20/1-14.						
【公平性の評価】  8. 受益機会の適正化の余地(受益の機会が偏っていて不公平でないか)  なし	なし	説										
8. 受益機会の適正化の余地 (受益の機会が偏っていて不公平でないか)  ***  **  **  **  **  **  **  **  **		97										<b>小</b> 要
8. 受益機会の適正化の余地 (受益の機会が偏っていて不公平でないか)  ***  **  **  **  **  **  **  **  **	1 / Till 0	TE /TE 1										
本し 散産宣伝では特産物を扱う業者が特定受益者と考えられるが、物産宣伝するときに、販売品を安価に提供したり、自費で参加してもらったりすることで、特定受益者がある程度の負担を実施していると考える。  9. 受益者負担の適正化の余地(県内他市と比較し、適正な水準か) 平均的な水準と考えている。  説 でおりな水準と考えている。			・の人は(五谷の婦人では、マレイアハゴマカリ))									
なし	8. 安益機会0			7.15 m. + = = = = - + 7	しょし 町吉口ナウ圧に担併し	1.4.11 白書	1 1/ 3	C. Free / Lord NJ, NJ, mda A	A =346			
なし			初座旦伝では特度物を扱う来有が特定安益有と考えられる  で参加してもらったりすることで、特定受益者がある程序	るか、物性旦伝りる 隻の負担を実施して	これでは、販売品を女価に提供していると考える。	したり、日貸	★二次計	「恤 ( 経宮戦略会	会議・ 部会 )			
9. 受益者負担の適正化の余地(県内他市と比較し、適正な水準か)       平均的な水準と考えている。       取けり       説	なし	記										

事 業 コード 33120003

【1枚目】

											L								
事 務	事務事業名							Š		産業建設部	ĵ	政策の	柱 基	1 にぎわい、沿	5力あるまちづく	IJ	会計一般会計		
予算書	書の事業名	3. 観光物産・宣	云事業				課名等	ř		商工観光課	j	政 策	名 3	交流と連携によ	よるにぎわい創出		款 7. 商工費		
事業期間	間 開始年度	平成17年度	終了年度	当面継続	業務分類	5. ソフト事業	係 名 等	ř		観光係	,	施策	名 1	.観光の振興			項 1. 商工費		
実施計画(H	 I25~H27) への記載	裁 無	実施	計画(H26~H28)	における区分	実施計画書に記載しない	記入者氏名	3		高森 哲也	ļ	区	分な	L			目 4. 観光費		
実施方法	生 () 1. 指	定管理者代行	2. アウトソ	ーシング () 3.	負担金・補助	金 ● 4. 市直営	電話番号	1		0765-23-1025		基本事業	名情	報の活用と受け入	しれ体制の整備				
24,42,70				- 10	,			1			Ľ			18-7-18-71	**************************************				
	(どのような事業	/	<b>要奴这の</b> 発展Ⅰ	5. が塩銀に姿する	ことを日めに	魚津蜃気楼大使を設置し、	<b>角油古の</b> 幻	_		<b>国への記載予定事業内容</b>				上段・計画:	: 下段・実績		計	画	
		Rをし、また、まち					州本山の州	H2					単位	oo fre ste	outer etc	or tre the	on tre the	on tre ste	oo te ste
								H2					11/	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
< = DI	東	何を対象にしてい	スのか ※ しゃ	か 白鉄姿循か	レト			HZ	8					22	22				
蜃気楼力		門を対象にしてい	30717° XXX	物、日然貝娜は	C /				(1	〕 蜃気楼大使			人	17	17	17	17	17	17
<del>**</del>									対 免										
象									指	2									
									標										
									(3	3)									
<平成	24年度における事	業見直しの有無>	<平成24年度	医の活動及び見直	し内容>			П						4, 400	4, 400	400	400	400	400
	見直し無	hur.				った。また、魚津市と「蜃気 ント情報などのお便りを四≛			江	D 蜃気楼大使名刺印刷			枚	0	400	400	400	400	400
手	兄旦し#	<del>****</del>	の距離を近っ	ハるため、岡工1	ボル麻がり1へ	ノ I 用取なこのの関ッを四=	一物毋1~达1)		動	② 魚津の特産品の送付回数			回	1	1	1	1	1	1
段 <平成2	5年度の主な活動に	内容>							指標	シ 黒津の付性品の达刊回数			ᆁ	1	1	 	<u> </u>	']	 
				魚津市と「蜃気楼	大使」との距離	#を近づけるため、商工観光	た課からイベ		(3	③ 大使通信の送付回数				3	3	3	3	3	3
		四半期毎に送付し								の 八氏 起信 の 起 円			1	3	3	,	, and the second	Ů	
		、対象をどのように			±+				(1	到 観光客入込み数 (字話は観光客 1 1 数調	木	₩#∓ ト (1 )	人	1, 650, 000	1, 880, 000	1, 970, 000	2, 062, 000	2, 062, 000	2, 062, 000
大使のL	ココミによりたく	さんの県内外の人	い、無津市の艮	とさを埋解し、焦;	<b>軍市に米る。</b>				成	ジ (実績は観光客入込数調	宜	総括より)		1, 408, 780	1, 504, 638				
意図								$\rightarrow$	果塩	2									
									標										
									(3	3									
マ <施管の	り目指すすがた>							+	↑成里	R指標が現段階で取得できて とおいまである。	こしいか	ない場合 その	の形得	方法を記入					
の蜃気楼カ	大使からの口コミ?		<b>れからの観光客</b>	が増加する。また	た、観光客が増	加にともない観光産業の活性	性化が図ら		1 100.7	WHITH SHAND CANAL CO.	/,	ж С V	- *14.77	N IN C HUN					
結れ、元気果	記都市魚津市の実 <sup>3</sup>	現をさせる。																	
◆この事務	事業開始のきっか	けとこれまでの事	務事業見直しの	の経緯										実	績		計	画	
魚津市をよ	り広くより多くの	人々に知ってもら	い、観光客が地	曽加するように、	魚津市にゆかり	のある方々に魚津市のPR	をお願いする	5 Z		費目				23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	成16年2月16日に 月10日付けで委嘱		<b>政</b> 直安綱」を制	別だし、合謀へ雅	鳫1仏頪をし、選	考委員会を経た後、承諾が	付りれた20ノ	\I-		1)国・県支出金			円)	0	0	0	Ť	0	0
									酒	2) 地方債	(· )		-円)	0	0	0	Ť	0	0
▲閩始時期	以後の重数重要な	・ あり 巻く 環接の 亦	化レ 合名子材	担される環接亦ル	(法改正 担制	緩和、社会情勢の変化など	<sup>*</sup> )		M	<ul><li>3)その他(使用料・手数料等</li><li>4)一般財源</li></ul>	ř)		-円)	0 65	71	400	- v	400	400
						核和、社会情勢の変化など  グ等によるロコミやPRが		C L V	八 (4	子算(決算)額((1)~(4)の	の合		-円)	65	71	400		400	400
る。					• • •			ŀ	(1	1) 需用費			-円)	65	71			400	400
◆市民や議	会などからの要望	・意見(担当者の	私見ではなく、	実際に寄せられ	た意見・質問な	:どを記入)			₹ (2	2)委託料		(千	-円)	0	0	0	0	0	0
蜃気楼大使	から市長、職員で	の意見交換会を開	催するよう要望	望がある。議会で	も蜃気楼大使の	活用等が取り上げられた。				3)工事請負費			-円)	0	0	0	Ů	0	0
▲ IEI de Medie	n 中华小		m#0 1 '	a ofer years to Lee Inc.	and a second of the second	7 188			글다	4) 負担金補助及び交付金			-円)	0	0	0	0	0	0
◆県内他市	の実施状況 量している			容又は把握して		入欄 立山大使」、氷見市は「きる	ときと角士は	i」を		5)その他 A. 予算(決算)額((1)~(5	5) (7)		-円)	65	-	400	ű	400	400
	<sub>至している</sub> 量していない		置。	・・・・・ハス」、田田に	元の四次本は 「	エーハは」、小元川は「ご	C C M/X	ے د.		A. 予算(沃昇)額((I)~(5) 務事業に携わる正規職員数	) (I).		人)	2		400		2	2
	政の協働状況	•	選択した協働状	(況の内容又は理)	由の記入欄			(		務事業の年間所要時間			計間)	140	140	140	_	140	140
● 協領	制している		ちづくりに役立	てつ情報の収集や	提供を市民の方	々と協力して実施している。	0		В. 人	人件費(②×人件費単価/千	円)	(千	-円)	607	616	616	616	616	616
_	動可能だが未実施									事業に係る総費用 (A+B)			-円)	672	687	1, 016	1, 016	1, 016	1, 016
○ 協領	働になじまない								(参考	5)人件費単価		(円 @	@時間)	4, 336	4, 399	4, 400	4, 400	4, 400	4, 400

部・課・係名等 コード 1 03010200 政策体系上の位置付け コード 2 331002 予算科目 コード 3 001070104

#### 【目的妥当性の評価】

1. 基本事業	: の直	結度(事務事業の意図が基本事業の意図にどのくらい直結し	ているか、その	理由も記載)		★ 評価	Б結果の総括と今後	の方向性			
<ul><li>■ 直結度</li></ul>	Ł	大使からのロコミにより、観光情報が効果的に発信され 説 誘客が期待できる。	1、全国各地から	多くの人が訪れることに直結し	し、本市への	(1)	評価結果の総括				
<ul><li>直結度</li></ul>	Þ	明					① 目的妥当性	● 適切	<ul><li>○ 目的廃止又は再設定</li></ul>	の余地あり	
○ 直結度/	l\						② 有効性	● 適切	○ 成果向上の余地あり		
		生(民間や他の機関でも実施可能な事務事業か)					③ 効率性	● 適切	○ コスト削減の余地あ	ŋ	
0		り市による実施が義務付けられている					<ul><li>④ 公平性</li></ul>	● 適切	<ul><li>受益者負担の適正化の</li></ul>	の余地あり	
○ 法令な。	どによ	る義務付けはないが、、公共性が非常に高く、民間(市民・ 実施が妥当	企業等) による <sup>-</sup>	サービスの実施が不可能(又は	困難)なた	(2)	今後の事務事業の2	方向性 まま(又は計画どおり)糸	*練宝施	年度	
		- ビス提供は可能だが、公共性が比較的高く、市による実施が					○ 然八0~		〇 休止	1100	
-		いるが、関与の必要性は低く、今後は市の関与を縮小(廃」						8事業と統合又は連携	O NATE		
_		を成しているので、市の関与を廃止が妥当	-, ,				<ul><li>○ 目的見直</li></ul>				
根拠法令等を			事務の区分	自治事務			_	そのやり方改善			
o = ==================================	- 6 11	6. (19.15 - 1.14 (1.1.)   1 (19.11 (1.19 (1.1) (1.19 (	vr - seri I ) slovino	A SAM PER COLUMN A SAM PER		4 7/ +t-	at denta (	- 1 2 1 2/ 24 2 2/ 24 2	10 2 2		- 1 1 Nm - 1-61
3. 目的見直し	の余地	<mark>也(現状の【対象】と【意図】は適切か、また、見直す場合</mark>	その理由と内容を	を説明、できない理由も説明)		★改革・	改善案(いつ、 <i>どの</i>	のような改革・改善を、		。連絡を密にし、様々な事業や県外での	コストと成果の方向
なし	説明	<b>35(小の対象と思路は題別でのり、光直しの木型はなし。</b>						イベント(観光宣伝など 4度末の任期にまで23 ていく必要有り。また	?)での参加を促す。また23 〜24年度の事業を評価し、よ 大使との懇談会の開催等より	。建附を出たし、様々な事業やデオでの 年度に新たに委嘱したところであり、2 り効果が上がるよう変更も含めて検討し 魚津市が身近に感じ、宣伝してもらえる	コストの方向性
							平成26年度	ような仕掛けを検討す	<b>৩</b> .		
【有効性の							T/X20 T/X				維持
4. 成果向上の	余地	(成果の向上が今後どの程度見込めるか説明、できない理由	も説明) ※成果丼	<b>旨標の計画と実績との比較に基</b>	づき記入	実					i.e⊏1.1
		成果向上の余地なし				施					
なし	説			成果実績	中位	予					
	明			ルスホス川奥	1112	定時		津市のPRにつなげる	。また、24年度までの事業を	対し故郷感を持ってもらい、引き続き魚 評価し、より効果が上がるよう事業内容	成果の方向性
5. 連携するこ	とで、	今より効果が高まる可能性のある他の事務事業の有無(ど	う効果が高まるだ	か説明、できない理由も説明)		期		の変更も含めて検討し	Cuico		
		現在、観光・物産宣伝事業と連携。その他に連携すること	で、今より効果が	が高まる可能性がある他の事務	事業はない。		中·長期的				
なし	説明						(~5年間)				維持
【効率性の	評価										
6. 事業費の削	減の余	- 余地(手段を工夫することで、事業費を削減できないか説明	、できない理由も	も説明)							
		観光・物産宣伝事業との連携で実施しており、今以上の削	咸は困難。								
45.1	説					★一次計	平価 (課長総括評価	i)			
なし	明					発足時 た	いらの目的からして	継続しながら内容の見直	[しを図り、有効活用すべき	事業と考える。	二次評価の
											(X = 1 m 0)
7. 人件費の前	減の	余地(今の業務時間を工夫して少なくできないか説明、でき	ない理由も説明	)							
		蜃気楼大使が効果的に事業を実施するには、担当の細やか	な対応が必要。								
なし	説										
<i>7</i> C	明										不要
【公平性の評	"価】										
8. 受益機会の	適正化	との余地(受益の機会が偏っていて不公平でないか)									
		蜃気楼大使が特定受益者と考えられるが、名刺以外は魚津 考える。	を自費でPRして	ていただいているので適正化のタ	余地はないと	★二次計	平価 (経営戦略会	会議 ・ 部会 )			
なし	説	7.00									
5. 5	明										
9. 受益者負担	の適正	E化の余地(県内他市と比較し、適正な水準か)									
		他の自治体の大使と比較しても、平均程度と考える。									
平均	説										
: <del>-</del>	明										